

# 高知龍馬空港新ターミナルビル整備内容の変更について

令和 6 年 9 月

高知龍馬空港・航空ネットワーク成長戦略検討会議

令和5年	6月12日	<ul style="list-style-type: none"><li>● 第8回検討会議</li></ul> <p><b>整備の方向性を確認</b></p> <p>⇒国際線の需要喪失リスクを踏まえて、可能な限り簡素化し、国際線を主としながらも国内線も活用可能な新ターミナルビルを整備</p>
	10月30日	<ul style="list-style-type: none"><li>● 第9回検討会議</li></ul> <p><b>整備案の承認</b></p> <p>⇒整備規模：3,376㎡ 整備費用：19.48億円 完成時期：令和7年10月中 ＜整備の前提条件＞</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①現在タイガーエア台湾が運航している機材や搭乗率を反映した搭乗者数が受入れ可能な施設（180席×搭乗率90%=162人）※同時刻の複数便受入れは考慮しない</li><li>②国際線の需要喪失リスクを踏まえて、可能な限り簡素化しつつも、定期便化を目指した国際線の受入れに必要な施設</li><li>③国際線を主としながらも国内線も活用可能となる施設</li><li>④万博を契機としたインバウンド需要を取り込むため、令和7年10月中の供用開始を目指す</li></ol>
令和6年	2月6日	<ul style="list-style-type: none"><li>● 新ターミナルビルの設計に着手</li></ul>

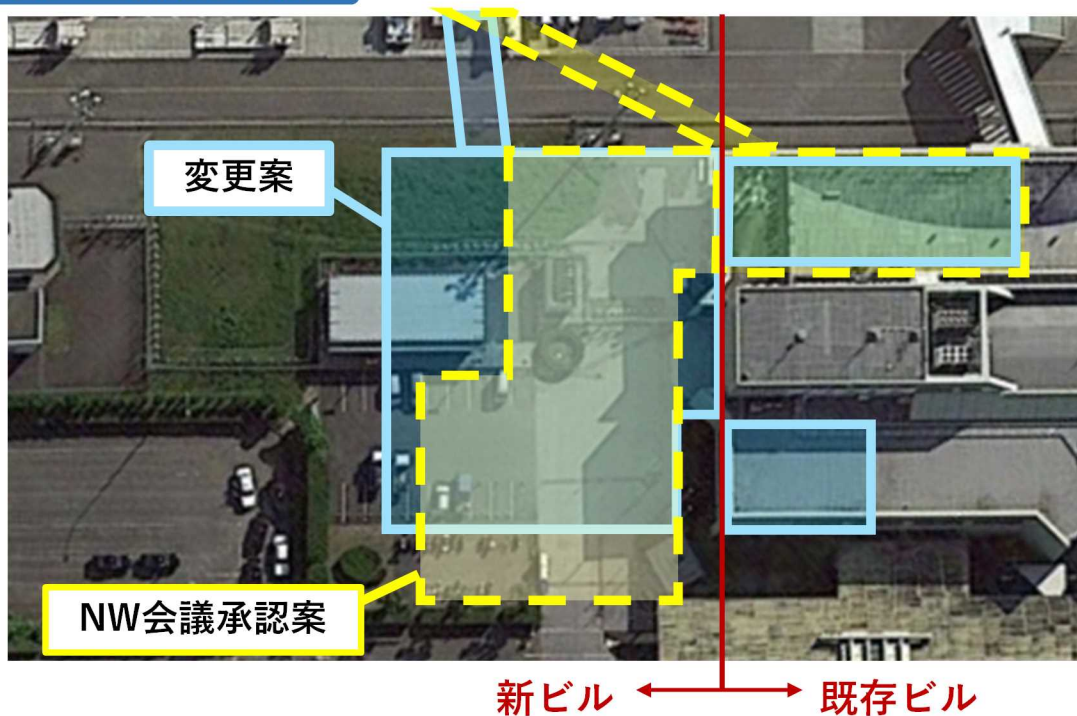
## 1. 経緯・変更内容

- R5.10月に、高知龍馬空港・航空ネットワーク成長戦略検討会議において、国際線ターミナルビルの整備案を了承
- 将来数十年にわたって利用する、**インバウンド観光の要となる施設**であることから、基本設計を進めるにあたって、関係者から丁寧にご意見等を聴取し、再度整備内容を検討
  - ・ 必要面積の精査による減 (△381㎡)
  - ・ 搭乗待合室やチケットロビーのスペースの拡充など、快適性・利便性を向上 (+344㎡)
  - ・ 円滑な審査や検査機器の大型化を見据えたスペースの確保など、旅客対応力を向上 (+433㎡)
  - ・ 今回の整備に伴い必要となる移転補償等 (+229㎡)

}

+625㎡

## 2. 整備案の比較



項目	NW会議承認案	変更案
整備規模	3,376㎡	4,001㎡ (+625㎡)
整備費用	19.48億円	36.54億円 (+17.06億円)
完成時期	令和7年10月中	令和8年度中 (最大+17ヶ月)
内際共用施設	・PBB(旅客搭乗橋) ・搭乗待合室 ・出発ロビー	・PBB(旅客搭乗橋) ・搭乗待合室

# 高知龍馬空港新ターミナルビル整備 整備案の変更について

## 3. 整備面積

3,376㎡ ⇒ 4,001㎡ (+625㎡)

項目	面積	主な増減
①必要面積の精査による減	△ 381㎡	到着ロビー：△124㎡(189㎡→65㎡) VIP室：△52㎡(77㎡→25㎡) 機械室：△58㎡(155㎡→97㎡) など
②旅客の利便性向上、保安上の観点等による増	+344㎡	搭乗待合室：+119㎡(270㎡→389㎡) チケットロビー：+96㎡(85㎡→181㎡) 国際線出発ロビー：+119㎡(0㎡→119㎡) など
③CIQ関係者からの指導、計画見直し等による増	+433㎡	CIQ検査場、事務室：+139㎡(814㎡→953㎡) トイレ、階段等：+104㎡(891→995㎡) 荷捌場：+103㎡(126㎡→229㎡) など
④今回の整備により生じる移転補償等による増	+229㎡	スタッフ休憩所：+85㎡(0㎡→85㎡) 倉庫：+19㎡(0㎡→19㎡) タクトラバ-休憩所：+14㎡(0㎡→14㎡) など
合計	+625㎡	

## 4. 整備費用

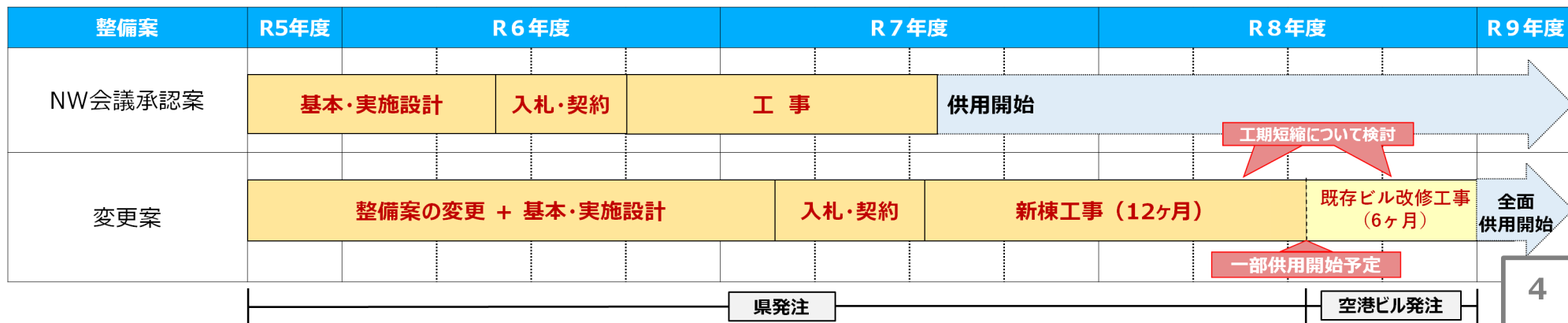
19.48億円 ⇒ 36.54億円 (+17.06億円)

項目	金額	備考
①計画変更に伴う面積増など	+2.73億円	・新棟部分：2.22億円 ・改修部分：0.51億円
②資材・労務費の高騰など	+11.01億円	・資材の価格高騰、労務費の上昇：6.56億円 ・耐震性強化による増：4.05億円 など
③消費税の追加	+3.32億円	・NW会議承認案の整備費用は税抜き
合計	+17.06億円	

※ 資材価格の高騰や労務費の上昇が今後も継続した場合、完成までの工事費用はさらに増額となる可能性あり

## 5. 完成時期（工期）

- 整備内容の検討に時間を要したことや、計画変更に伴う面積が増加したことに加え、現在の標準工期を考慮すると、施設の完成時期は令和8年度中となる見通し



# 高知龍馬空港新ターミナルビル整備に伴う吉田茂元内閣総理大臣銅像の移設について

## 1. 経緯

- S57.5 「吉田茂先生銅像建立期成会」設立（会長：高知県知事、県議会議長、県内経済団体・企業などで構成）
- S59.7 吉田茂内閣総理大臣銅像が完成し、高知空港緑の広場（当時・空港駐車場の東側）に設置
- S59.9 県が「吉田茂先生銅像建立期成会」から銅像の寄付受納
- H24.9 県道高知空港インター線などの整備にあたり、銅像を現在の位置に移設
- R7 新ターミナルビルの整備に伴い、国内線ターミナルビル東側入口（ANA側）横に銅像を移設予定

## 2. 移設について

新ターミナルビルの整備に支障となることから、県民の方や観光客の方をお出迎え、お見送りできる近隣の場所に銅像を移設予定

